

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	堺セーフシティ・プログラム推進事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画推進
				課	評価責任者(課長名)
					植松

**Ⅰ. 基本情報**

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	6	市民・事業者・警察等との連携・協働による生活安全対策の推進	有
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	令和 元 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	・第4期さかい男女共同参画プラン(改定)			
5	事業実施の経緯	2012年11月 ミチエル・パチエレUN Women前事務局長が堺市表敬時に提案・要請(以後調査検討) 2013年12月 UN Womenに対して参加表明文書を送付 2014年2月 UN Womenより参加の承認を受ける 2014年3月 正式参加				

**Ⅱ. 事業概要**

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	UN Womenと連携し、安全な都市空間の形成を目的として、公的空間における女性や子どもに対する性暴力やセクシュアルハラスメントを防止・減少させる防犯モデルを構築し、全ての市民にとって安全・安心なまちづくりをめざす。最終的には、世界各都市にそのモデルの提供を行う。 あわせて、「堺セーフシティ・プログラム」の取組について、広く市民に周知し、暴力を許さない市民意識の醸成を図る。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○UN Womenが推進する「セーフシティーズ・グローバル・イニシアティブ」に参加する。 (2016年「安全なまちと安全な公共スペース」に名称変更) ○UN Womenのガイドラインに沿って、堺市の現状分析を行い(2015年スコーピング・スタディ)、女性や子どもの安全を確保するための事業計画を作成する(2016年プログラムデザイン)。 ○計画にしたがって事業を実施し、評価指標を定め、取組状況の確認やプログラムの見直しを行うとともに、報告書を作成し市民やUNIに報告する。(2016年～2019年フォローアップ・レビュー・レポート) ○性暴力に関する基礎的な知識を身に付け被害者への二次的被害の防止を目的とした「よりそいサポーター事業」の実施、国際女性デーの趣旨や堺セーフシティ・プログラムの取組を市民へ周知するためのパネル展を開催する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム				

**Ⅲ. 投入量**

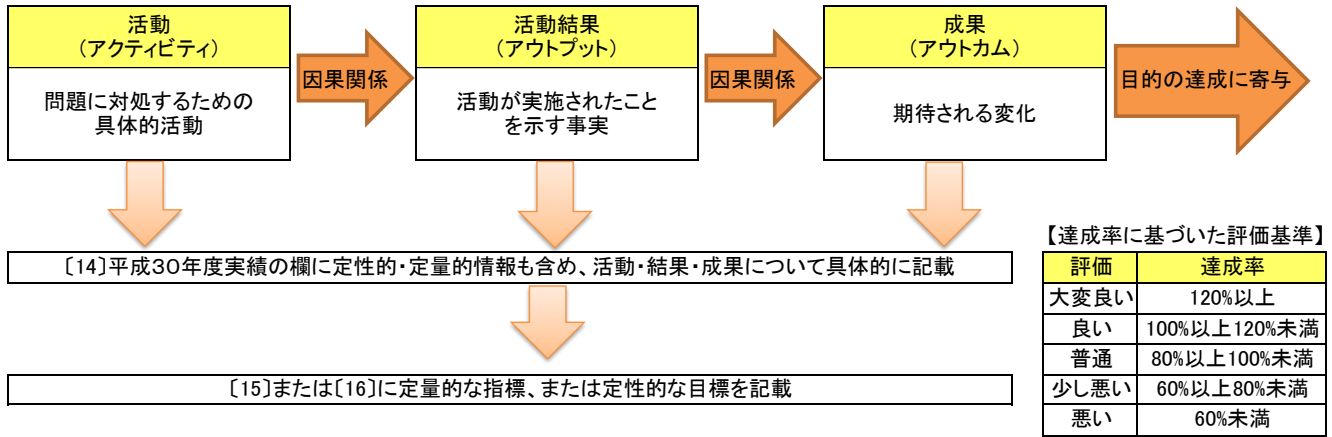
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	事業費 (a)	千円	3,320	3,169	4,000	4,385	
	主な事業費内訳	セーフシティに関する分析研究委託	千円	2,006	2,386	2,407	2,155
		よりそいサポーター事業	千円	116	116	115	141
		国際女性デー事業	千円		255	764	928
	財源内訳	国・府支出金	千円	708	95	—	754
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他 ( )	千円				
		一般財源	千円	2,612	3,074	4,000	3,631
	12	人件費 (b)	千円	4,920	4,920	4,920	4,860
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,240	8,089	8,920	9,245

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺セーフシティ・プログラム推進事業	シート番号	07-41
-------	-------------------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>●フォローアップ・レビュー・レポート2017の作成                      庁内関係部局と連携のうえ、本事業の各取組についての進捗管理や第三者評価を実施し、UN Womenへ年次報告を行うとともに、各取組については改善を図り、全庁的に安全・安心なまちづくりを推進した。また、平成30年度新規事業として、「デートDV等予防出張セミナー」「青少年の性犯罪被害防止啓発活動」等を実施し、本事業の取組拡充を行った。                      本事業の目標の1つである、体感治安について、市政モニターアンケートでは「良い」「どちらかといえば良い」と考えている人の割合が増加傾向(H28年度:38%→平成29年度:46%→平成30年度:52%)であり、安全安心なまちづくりに寄与できていると考える。</p> <p>●よりそいサポーター講座                      性暴力被害者と接する可能性のある、消防局職員、医療関係職員(医師、看護師、助産師等)、保健師、保育士等を対象とし、性暴力の実態や性暴力が起こる要因・背景等の基礎的な知識を身に付け内容と、それぞれの職種にあった内容の具体事例を基に対応方法を考えるケーススタディを実施。5講座実施し、参加者数は98人。アンケートで「今後の業務に活かすことができる」と94%の参加者が回答しており、二次被害防止につながった。</p> <p>●国際女性デー【来場者数 1,695人】                      国際女性デーにあわせて、女性活躍や「堺セーフシティ・プログラム」の取組について、イオンモール堺北花田にてパネル展を開催した。展示会場では、国際女性デーを象徴する花であるミモザをイメージしたフォトブースを設置し、事前に応募のあった中から選定した「イクメン・カジダンに関する川柳」作品を展示し来場者による投票を実施した。川柳コンテストの実施やフォトブースを設置することで、パネル展への集客につながった。来場者アンケートでは、85.4%の人が、「堺セーフシティ・プログラム」について関心や理解が深まったと回答しており、安全安心なまちづくりに関して市民意識の醸成を図ることができた。</p> <p>●各種イベントでの取組周知                      堺区ふれあいまつりや平和と人権展等、様々なイベントでパネルを展示し本事業の各取組について広く市民に周知を行った。来場者数は以下のとおり。                      ・平和と人権展11,000人 ・生命のメッセージ展1,180人 ・堺区ふれあいまつり855人</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		堺セーフシティ・プログラム関連事業への参加人数	人	目標値	1,200	1,000	1,200	1,200
				実績値	1,311	1,494	1,793	
				達成率	109%	149%	149%	
				評価	良い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など		よりそいサポーター事業と国際女性デーイベント(シンポジウム)の参加者数				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		体感治安が「良い」と考えている人の割合	%	目標値	55	60	65	70
				実績値	38	46	52	
	達成率			69%	77%	80%		
	評価			少し悪い	少し悪い	普通		
	算出方法・設定根拠など		市政モニターアンケートで「良い」「どちらかといえば良い」と感じている人の割合を令和元年度までに70%とする。					

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>全庁的に本事業を推進し、毎年進捗を図り取組改善につなげることで、各取組の充実や新規取組の拡充ができています。</p> <p>「堺セーフシティ・プログラム関連事業」である「よりそいサポーター講座」では職種にあった内容の具体事例を基に対応方法を考えるケーススタディの実施や、「国際女性デー」イベントではパネル展と川柳コンテストを同時開催するなど、様々な工夫を行い、参加人数について、目標を上回ることができた。</p> <p>その他、様々なイベントで積極的に本事業の取組周知に努め、市民の方々に「堺セーフシティ・プログラム」について理解や関心を深めてもらうとともに、安全安心なまちづくりに関して市民意識の醸成を図ることができた。</p> <p>今後も引き続き、市・地域コミュニティ・市民との協働で各取組を推進し、さらに連携を深めながら堺市全体の安全安心なまちづくりの機運を高め、体感治安の向上に努めていく必要がある。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。